

輝人

かがやきびと

このコーナーでは仕事やプライベートで
“輝く人”を紹介します。
第52回は、調剤薬局運営部SSVとして、
そしてアカカベ薬局泉大津昭和町店
薬局長として活躍する、
田辺 航さんをクローズアップします！



目指したいと思える上司や先輩たち その存在が これから進む道を照らしてくれています

薬剤師として成長することができた 「往診同行」

田辺さん曰く“薬剤師以前に社会人としてのことを教えていただいた”という谷川店での研修期間。「人生初の接客。上手く話せないし電話対応もひどかった。『はい、はい、わかりました!』と電話を切った後、誰から?どんな内容?と頭が真っ白になる状態。そんな僕を見捨てずに、ちゃんと叱ってくれた当時の薬局長には心から感謝しています。」伸びしろしかなかった研修期間を経て配属されたのは野崎参道店。処方せん枚数も多く、在宅医療の施設数も多い繁忙店舗。とにかく忙しかったが、自分の成長を感じることができた毎日だったと田辺さん。「往診同行の経験は、薬剤師として成長するきっかけになりました。ドクターは薬の名前を先発名でおっしゃるので、質問されることに即答できるように毎回予習をして臨んでいました。また、施設の方との何気ない会話の中から要望を伺ったり、改善点を思いついたりすることが多く、コミュニケーションをとることの大切さを学びました。日々の反省や気づきが薬剤師としての自分の成長に繋がっていることを感じる、充実した時間でした。」

薬も足りない、薬剤師も足りない、 開局後初めて迎える年末年始

野崎参道店で着実に経験を重ね、2021年1月、野田阪神店への異動で薬局長に昇格。

田辺さんの 好きな言葉

「人間万事塞翁が馬」
人生において何が良く何が悪いのかは、後になってみないとわからない
物事に一喜一憂せずに、すべての経験を自分の糧にしながら、人生を歩んでいきたいと思っています。

田辺 航
(たなべ わたる)

2019年 新卒入社
初配属は谷川店。その後野崎参道店を経て、野田阪神店のオープンに伴い薬局長に就任。
野田阪神店での経験を活かし日本橋駅前店、泉大津昭和町店の立ち上げに貢献。
2023年4月にSSVに昇格し第2エリアの4店舗を管轄している。

その後日本橋駅前店を経て、2022年10月に泉大津昭和町店に着任した。内科を併設する泉大津昭和町店。薬局のPRを検討する間もなく、新型コロナウイルス第7波の影響で、処方せん枚数は一気に1日140枚を超えた。「開局後はじめて迎える年末年始。大晦日の夜に患者様の数が急増しました。1月2日の開局に向けて薬剤師の数も足りないし薬も足りない、それでもお薬を必要とされている方は大勢いる。部長を中心とした部内協力体制の下、元旦の朝から在庫のある店舗を廻って薬をかき集め、なんとか乗り切ることができました。年始早々に部長が車を飛ばして駆けつけてくださった時は、本当にありがたい気持ちでいっぱいでした。」

「顔を合わせて話すこと」の大切さ

野崎参道店時代の往診同行で学んだ、コミュニケーションを取ることの大切さは、現在も田辺さんの軸となっている。「併設しているクリニックには、特に用事がなくても毎日何って対面で挨拶をしています。医薬品

の卸さんとも電話やメールで何でも済ませずに、顔を合わせて話すことを意識しています。何気ないことですが、そういう日々の積み重ねが現在の安定した関係性に繋がっていると確信しています。」

目指したいと思える上司、 先輩たちの存在が希望

昨年からSSVとして自店を含めた4店舗を管轄している田辺さん。みんなが優秀だから大変なことは全くない、と笑顔で話す。「新人時代に温かく叱ってくれた薬局長、多くは語らないけど、ここぞという時に方向性を示してくれる上司。そしていつも寄り添ってくださる部長。挙げはじめたらきりがなくらい、素敵な方がたくさんいます。目指したいと思える人たちがいるから、自分がこれから進む道に希望を感じる、とても幸せなことだと思っています。今後はSVを目指したいですし、本部の仕事に携わりたいという思いもあります。枠にとらわれずに自分の可能性と会社の利益を追求したいです!」